

八木健の

# 川柳アート

選者：川柳アート  
八木健（月刊川柳総合誌）  
「川柳マガジン」三元選者

特選



一遍さん熱かつたてしよう逃げられず 武井基次

一遍さん熱かつたてしよう逃げられず  
重要文化財・木造一遍上人立像の焼失は恥ずかしい事件でした。防火設備もなく、焼失の責任は誰が負うのか。八十歳のご住職に管理を任せていたのは、私たちが愛媛県民の責任なのです。

武井 基次（松前町）



国益を損なう鳩が良くしゃべる 藤原白男

国益を損なう鳩が良くしゃべる  
元首相が「尖閣諸島は」中国側から見れば盗んだと思われても仕方がない」などと発言して、国賊だとか、それ以下だとか騒がしい。宇宙人の発言だから、安倍さんは無視してませんが……。

藤原 白男（今治市）

佳作



チャリを漕ぐ この太ももがバッテリー 加藤美代子

チャリを漕ぐこの太ももがバッテリー  
なるほどと納得させるのが川柳の醍醐味。電動自転車よりも省エネだ。高校野球のキャッチャー、サッカー選手は、引退後、太ももを生かして自転車漕いで発電したらええなあ。加藤美代子（東温市）



線香の火花 意地を見せ 加賀山一興

線香の火花最後に意地を見せ  
線香火花の着火から消滅までは、人間の一生にも似たドラマを見た気分になる。八十過ぎて世界一高い山に登ったりすると、昔は年寄りの冷や水と言われたのだが、今は褒められる時代さ。

加賀山一興（宇和島市）



建前があつて本音が牙を研ぐ 西野周次

建前があつて本音が牙を研ぐ  
建前だけでモノを言うのが巧い人は、役人に向いている。本音だけでも言う人は、何やっても駄目。建前を言いつながら本音をちらつかせるのが世渡り上手ということですね。西野 周次（松山市）



転ぶから腕を組んでる老夫婦 花山昇

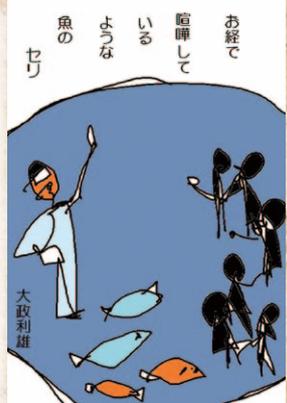
転ぶから腕を組んでる老夫婦  
腕を組んでいるのは、夫婦仲がいいからとは限らんです。この絵は、腕を組んでいるのではなく、コンビニに弁当を買っていく爺を婆が引き止める図。家で調理したもの食えと。花山 昇（松山市）



補聴器は特に陰口良く聞こえ 規子

補聴器は特に陰口良く聞こえ  
新製品は客のニーズから生まれるもので、ロボット掃除機なんかソレ。補聴器は嫁姑のせめぎ合いから生まれたもので、最新型は、聴きたくないことは自動的に聞こえない耳栓モードに。

規子（松山市）



お経で喧嘩しているような魚のセリ 大政利雄

お経で喧嘩しているような魚のセリ  
言い得て妙ですな。魚市場のセリは威勢が良い。歌会始めみたいいなセリでは魚が腐ります。「何万だ何万だ」が「南無阿弥陀仏」に聞こえるから、魚たちも成仏できるというものです。

大政 利雄（松前町）

## ひろば OCT.

助け合いたいのが…… お爺さん

（八幡浜市・74歳）  
昔は1家族で5〜6人とか、それ以上の人数で暮らす家も本当に珍しくなかった。しかし今はどうか。少子高齢化は深刻で、特に地方では年寄り夫婦や、一方が欠けた寂しい独り暮らしが多い。そんな世相を反映する団地で、お隣同士のある日の出来事。「Aさん、早う来てやー。父さんが車イスからこけたんよー」と老女性の切羽詰まった大声。しばらくして「わしも70過ぎじゃ。足腰が痛うて……。いつも頼られても困るがよー」と、すぐには行けない男性の声が聞こえた。

娘の一言 モモコ

（新居浜市・38歳）  
小3の娘はひそかに学級委員にあげられている。1学期では、なれずに落ち込んでいたかと思ったら「みんなまだ私の良さを知らないから」と一言。2学期もなれなかつたら、どんな一言を言ってくれるのか楽しみだ。

13回忌 栗の実

（伊予市・70歳）  
秋彼岸の前に母の13回忌をした。京都の弟夫婦も帰

### お便り募集

○川柳 テーマは自由。未発表のオリジナル作品に限ります。採用された作品には選者・八木健さんが切り絵やCGを使った「川柳アート」を作り、本誌に掲載の上、採用者にプレゼントします。  
○ひろば エッセーなどを募集しています。テーマは自由、200字以内。誌面の都合上、原稿を割愛、修正する場合があります。ご了承ください。

ください。採用の方には、1,000円分の図書カードをお送りします。  
川柳とひろばのあて先は下記の通りです。住所、氏名、電話番号、性別、年齢をお書きください（ペンネームも可。必ず氏名を記入してください）。  
※ご応募いただいた個人情報は、適切に取り扱います。  
〒790-8511 松山市大手町1丁目12-1  
アクリート編集室 通信係  
Eメール accrete@enp-sc.jp